

こんにちは 牛越です

【第176回】
新年度が
スタート



大町市長
牛越 徹

今年、市内の桜の開花は昨年とほぼ同じ先月中旬となりましたが、昔に比べ随分早くなりました。

小中学校では入学式が行われ、新入生40人を迎えた大町北小学校では、3月まで保育園、幼稚園の園児だった児童が、小学生になったうれしさを満面に浮かべ式に臨みました。付き添いの保護者の皆さんも、わが子の晴れ姿をスマートフォンに収めていました。

大町中学校では、147人の新1年生が、真剣な表情で校長先生の式辞に聞き入っていました。コミュニケーションスクールの活動を担う学校運営協議会委員の皆さんも来賓として出席し、温かく見守っていました。私は祝辞で、身も心も大きく成長する中学時代には、多くの人々の多様な考え方や、先人の生き方を学ぶことが大切と話し、大いに本を読んでほしいとエールを送りました。

また、本年50周年を迎える山村留学の八坂美麻学園では、30人の入園生がダンコウバイの小枝を手に入場し、入園の集いが開かれました。壇上に並んだ入園生は、新しい学園生活に思

いをはせ、一人ひとりが1年の目標を発表しました。親元を離れての山村留学にはきつと固い決意があったことと思います。中には5年目を迎える学園生もいて、今年も新たな目標に取り組む抱負を述べました。会場には、全国各地からの保護者の皆さんや、受け入れ農家の父さん、母さん」が集い、和やかな雰囲気になりました。

陶芸の家では開講式が行われ、今年2人の新会員を迎え、23人で活動が始まりました。拠点の東町の陶芸の家は、昭和49年の開設から50年を迎えました。会員の皆さんは自らの創作活動に加え、親子陶芸教室などの講師を務めるなど、技術と創作の楽しさを伝えていただいています。

さて、グリーンシーズンの幕開けとなる立山黒部アルペンルートは、先月15日に全線開通し、多くの観光客でにぎわいました。人気スポット「雪の大谷」は、残念ながら悪天候のため16mの壁を仰ぐことはできませんでしたが、幸先の良いスタートを切り、大町温泉郷60周年を迎える今年、より多くのお客様の来訪を期待いたします。